

12月7日 =====

**フルート四重奏曲** ト短調 Op.98-1 A.ライヒャ作曲

ライヒャはチェコ出身、ベートーヴェンと同じ年の作曲家。パリ音楽院でベルリオーズやリストを教えました。特に管楽器のための室内楽曲を多く作曲したことで知られ、自身が奏者だったためフルート曲も数多く遺しています。古典派の形式を踏襲しつつも、東欧的なメロディーや特徴あるリズムに斬新さを感じさせる、名曲だが難曲です。

(Fl) 大槻郷子、(Vn) 佐々木史郎、(Vla) 瀬戸満寿美、(Vc) 河本計三

**フルート四重奏曲** 第4番 イ長調 K298 W.A.モーツァルト作曲

1756年生まれのモーツァルトですが、この曲は1778年(22歳)あるいは1786年(30歳)のころの作品と言われます。1番から3番まではマンハイムで作られましたが、この4番はパリで作曲されました。曲想はおだやか、10分弱のかわいらしいものです。

第1楽章 主題と変奏 第2楽章 メヌエット 第3楽章 ロンド

(Fl) 杉山絵麻、(Vn) 山縣峰雄、(Vla) 滝口修、(Vc) 市川晏欣子

**組曲二長調より** フンク作曲

フンクは1630年頃にボヘミアで生まれ、ドイツで活躍した作曲家です。「組曲二長調」は4本のヴィオラ・ダ・ガンバのために書かれた曲集の中から、後にチェロアンサンブル用に編曲されたものです。本日は、アダージョ、アルマンダ、クーラント、アリア、サラバンド、ジュークを7人で演奏します。

(Vc) 1番:富山辰夫・田村邦夫 / 2番:市川晏欣子・陣岡啓子  
3番:河本計三 / 4番:田中真規子・三毛ふみの

**七重奏曲** 変ホ長調 Op.20 ベートーベン作曲

ベートーベン初期の傑作で1799年から1800年にかけて作曲されました。この時期の作品は自身の古典派音楽の勉強と自らの独創性を模索するものが多かったようです。全曲を通じて明るい旋律と堂々としたリズムを持った作品です。全体は6つの楽章から成り、今日はその中から第1,3,5,6楽章を演奏します。

第1楽章 アダージョ - アレグロコンプリオ 第3楽章 メヌエット - トリオ

第5楽章 スケルツォ - トリオ 第6楽章 アンダンテ - プレスト

(Cl) 佐藤紀子、(Fg) 松本由佳子、(Hr) 篠原昇、  
(Vn) 福島啓一郎、(Vla) 砂田俊彦、(Vc) 富山辰夫、(Cb) 冬城純一

12月21日 =====

**弦楽四重奏曲** 第12番 ヘ長調「アメリカ」 Op.96 ドボルザーク作曲

チェコの作曲家ドボルザークが1892年ニューヨークナショナル音楽院の院長として渡米した折に、黒人霊歌やアメリカ先住民達の歌を題材として翌年1893年に作曲した作品です。新世界交響曲やチェロ協奏曲と共に渡米の際の三部作としても有名で彼の室内楽作品中最も親しまれている作品です。

第1楽章 アレグロ マノントロポ 第2楽章 レント

第3楽章 モルト ビバーチェ 第4楽章 ビバーチェ マノントロポ

(Vn) 福島啓一郎・笹原伸雄、(Vla) 瀬戸満寿美、(Vc) 富山辰夫

**フルート四重奏曲** 第1番 ニ長調 K285 W.A.モーツァルト作曲

1777年12月25日、クリスマスに完成されただけに、祝祭を思わせる明るく華やかな曲で、フルート四重奏曲全4曲中最も有名な作品です。

第1楽章は誰でも耳馴染みあるあのメロディーから始まります。第2楽章は沈鬱なフルートソロ(弦楽器はピチカート)が聴きどころ。第3楽章は軽快に刻む弦楽器、特にヴィオラの名人芸が披露されます。

(Fl) 大槻郷子、(Vn) 笹原伸雄、(Vla) 砂田俊彦、(Vc) 富山辰夫

**木管五重奏曲** ニ長調 Op.91-3 A.ライヒャ作曲

第1楽章 ゆっくりとしたテンポで始まり、フルートのカデンツァを経て快活なメロディの主題へ続きます。

第2楽章 アダージョのゆったりとしたメロディ。

第3楽章 スケルツォ風メヌエット。練習ではこの楽章が難関でした！踊れるようなテンポで演奏ができるかはお楽しみです。

フィナーレ 速いテンポで律動的なメロディの掛け合いが続きます。

(Fl) 杉山絵麻、(Ob) 斉藤恵津子、(Cl) 大貫京子、(Fg) 松本由佳子、(Hr) 千田理路

バイオリン協奏曲集(和声と創意への試み)「四季」より第1番ホ長調『春』

Op.8 ヴィヴァルディ作曲

1725年、イタリアの作曲家ヴィヴァルディによって作曲されました。「四季」の各協奏曲はそれぞれ3つの楽章から成り立っています。またそれぞれの楽章には作者不明のソネットが付されていて、このソネットゆえこの曲は標題音楽に分類されます。今日は「四季」より『春』を演奏します。

第1楽章 アレグロ 第2楽章 ラルゴ 第3楽章 アレグロ

独奏Vn = 福島啓一郎 (Vn) 佐々木史郎・笹原伸雄・福島裕子・冬城純一  
(Vla) 林俊雄・瀬戸満寿美、(Vc) 富山辰夫・市川晏欣子、(Cb) 小杉茂次

管楽セレナーデ 二短調 Op.44 ドボルザーク作曲

ドボルザークがチェコの民族音楽を取り入れて作曲した郷愁感溢れるセレナーデです。木管八重奏にホルン+1、チェロ、コントラバス、コントラファゴット(今回は省略)を加えた特殊な編成は低音に厚く、重量感があります。

第1楽章 『行進曲風』となっていますが、ややどっしりとした曲です。

第2楽章 チェコの民俗舞曲のリズムが用いられたメヌエット。

第3楽章 変奏曲風に作られています。牧歌的な旋律が楽器から楽器へと受け継がれていきます。

第4楽章 テンポの速いリズムカルな曲です。中心主題はチェコの民俗舞曲『スコチナー』のリズムで作られています。曲の終盤には、第1楽章の主題も顔を出します。

\*賛助

(Ob) 佐藤陽介・村井成、(Cl) 佐藤紀子・大貫京子、(Fg) 松本由佳子・大石龍巳  
(Hr) 篠原昇・牛山吉彦・津島美希、(Vc) 富山辰夫、(Cb) 冬城純一

===== 港北区民交響楽団 公演のお知らせ =====

第43回定期演奏会 2009年2月15日(日) 於みなとみらいホール

シベリウス/交響曲第2番

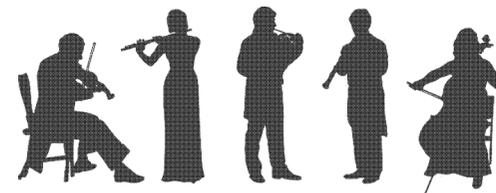
モーツァルト/交響曲第39番

ベルリオーズ/序曲「ローマの謝肉祭」

指揮:三矢 幸子

♪港北区民響 HP♪ <http://www.ne.jp/asahi/poco/a-poco/>

## 横浜市 港北区民交響楽団 室内楽コンサート



~ プログラム ~

12月7日

ライヒャ / フルート四重奏曲 ト短調 Op.98-4  
モーツァルト / フルート四重奏曲 イ長調 K298  
フンク / 組曲 二長調  
ベートーベン / 七重奏曲 変ホ長調 Op.20 から

12月21日

ドボルザーク / 弦楽四重奏曲 ヘ短調 Op.96 「アメリカ」  
モーツァルト / フルート四重奏曲 二長調 K285  
ライヒャ / 木管五重奏曲 Op.91-3  
ヴィヴァルディ / ヴァイオリン協奏曲 Op.8 「四季」より「春」  
ドボルザーク / 管楽セレナーデ 二短調 Op.44

2008年12月7日(日) / 12月21日(日)

開場 13:30 / 開演 14:00

於 大倉山記念館 ホール

主催: 港北区民交響楽団支援コンサート実行委員会

主催: 横浜市大倉山記念館

後援: 横浜市港北区 / NPO 法人大倉山水曜コンサート